

トニー・ ウォルター

Tony
Walter

講演会

死と臨終、東と西と

Death and Dying in the East and the West

社会が死と臨終を管理する仕方を規定しているのは何だろう。狩猟採集社会、農耕社会、産業社会、ポスト産業社会など、その社会の経済的状況だろうか。それとも国単位
の歴史・法・文化だろうか。今日のグローバルな諸力の影響はどの程度あるのか。それ
とも死を管理する方法は、東洋と西洋とで明確に区別されるのだろうか。この講演では、
これら様々な要因がどのように相互作用して、死に方、葬儀の形態、悲嘆の様態を形作
っているのかを明らかにしたい。

Tony Walter

1948 年生まれ。バース大学の死と社会センターの
センター長。著書に *The Revival of Death* (1994)、
The Eclipse of Eternity: A Sociology of Afterlife
(1996)、*On Bereavement: The Culture of Grief*
(1999) など。死生学、とりわけ死の社会学の第一
人者であるが、いずれも未邦訳。死生学研究者の
あいだで、今もとても注目されている人物。

11 月 19 日 (水) 19 時
東京大学本郷キャンパス
法文 2 号館 二番大教室
日英通訳あり・予約不要

主 催：東京大学大学院人文社会系研究科
上廣死生学・応用倫理講座

連絡先：uc4dals@gmail.com

